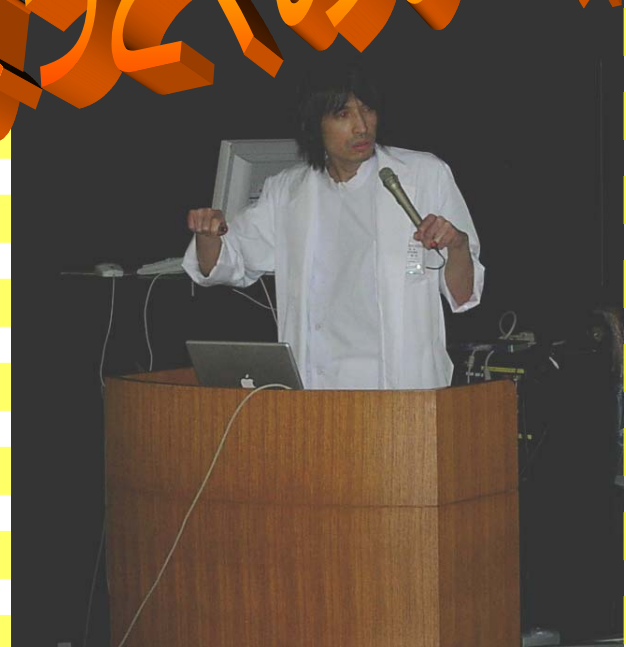


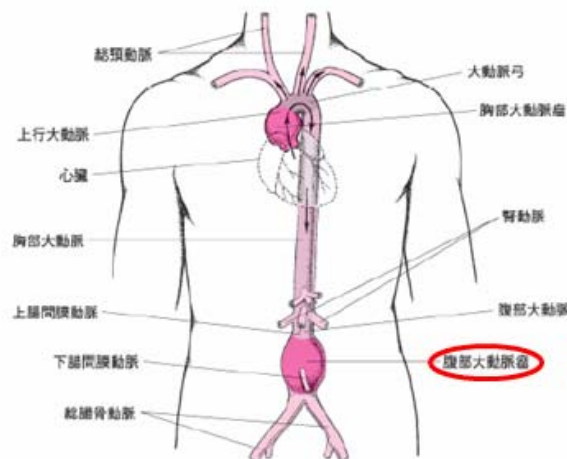
なつとくのお話



金沢医療センター公開講座 「話題の病気シリーズ」 ～ちょっと聴いてみませんか～



腹部大動脈瘤とは？



腹部大動脈瘤の原因

- ・ほとんどは動脈硬化関連
(本当の原因は不明)
高血圧や喫煙は危険度増大
- ・外傷
- ・感染
- ・大動脈炎
- ・先天性

「おなかを切らずに動脈瘤をなおす
～腹部大動脈瘤に対するステント治療～」

日時:平成 21 年 3 月 19 日

場所:地域医療研修センター

講師:笠島 史成 (心臓血管外科)

腹部大動脈瘤の症状

- ・破裂する前は症状なし
多くは検診などの超音波や CT 検査で偶然発見
- ・腹部拍動性腫瘍 (お腹のしこりがどっくんどっくんに気付くこともあり)
- ・破裂して、激しい腹痛、腰痛、ショック

腹部大動脈瘤の大きさと破裂

瘤直径	5年内の破裂率
<5.0cm	2%
5.0-5.9cm	25%
6.0-6.9cm	35%
≥7.0cm	75%

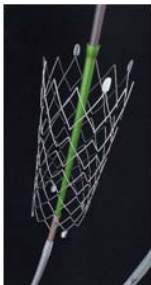
破裂する前に治療が必要



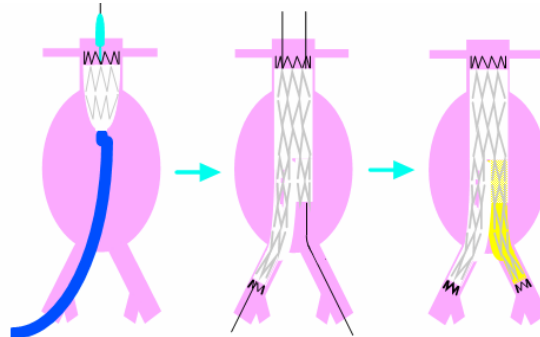
破裂すると
死亡率 80～90%
多くは突然死
手術できても、
手術死亡率 40～50%



腹部大動脈瘤の治療 血管内治療(ステントグラフト留置術)



ステント + 人工血管 = ステント
(グラフト) グラフト



- ・全身麻酔(がんばれば下半身や局部麻酔)、ソ径部(股の付け根)の切開
- ・翌日から食事、歩行可能
入院期間 1 週間余
- ・合併症、脳梗塞、心筋梗塞、腎不全少ない、血管損傷(1-6%)、塞栓症(1%)
- ・手術死亡率 1%未滿
- ・ただし「血液のもれ」がないか定期検査必要

おなかを切らずに動脈瘤をなおす低侵襲治療

ステントグラフト内挿術の保険適応

外科手術による治療が第一選択とならない場合でかつ解剖学的適応を満たすことが条件。
→高齢者や手術に耐えられない方、お腹を開ける手術が困難な方など、通常の手術では何らかの困難を伴う場合に限られる(日本のみ)

